

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(YOKOTAホールディングス株式会社・株式会社ホンダカーズ信州・ヨコタインターナショナル株式会社)

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

| | チェック項目 | 取組レベル | 【非該当】の場合選択入力 | 【予定】の場合選択入力 | 具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載) | 主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|-------|--------------|-------------|---|------------------------------|---|-----|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|------|----|----|------|----|----|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 製品・サービス | 【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している | 基本 | | | 整備車両の受入検査・中間検査・完成検査を確実に実施 | | | 3.9 | | | | | | | | | | | 12.4 | | | | | |
| | 【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している | 基本 | | | 常に自社取扱製品の知識向上に図り、お客様に安心・安全・快適なサービスを提供できるよう日々努めている | | | | | | | | | 9 | | | | | | | | | | |
| | 【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる | チャレンジ | | | CO2削減のため、ハイブリット車の販売を促進 | | | | | | 6 | | | | | | | | 12 | 13 | 14 | 15 | | |
| | 【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる | チャレンジ | | | メンテナンスパックによる安心の提供 安全運転支援システム付車両の販売 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | | |
| 地域貢献 | 【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している | 基本 | | | 地域人材の積極採用 中高生の職場体験の受け入れ | | | | 4 | | | | | | 9 | | 11 | 12 | | 14 | 15 | 17 | | |
| | 【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる | チャレンジ | | | 森の里親ボランティアを通じて、森林保護に努めている 年2回の周辺地域のごみ拾い活動を実施 エコキャップを行い、途上国のワクチン接種に役立てている。ベルマーケット回収で寄付を行っている | | | | 4 | | | | | | | | | 11 | | 14 | 15 | 17 | | |
| | 【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している | チャレンジ | | | 工事や調達品等は地元取引企業を優先利用している | | | | | | | | | 8 | 9 | | 11 | 12 | 13 | | | | | |
| 組織体制 | 【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している | 基本 | | | 年1回の全体会議での方針発表。毎月の経営計画の発信 朝礼での社是社訓唱和等 | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | 17 | | |
| | 【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している | 基本 | | | 各部の関わる法令等については改正等があれば、順次勉強会等を開催。社内イントラへの掲示 | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | | |
| | 【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している | 基本 | | | 社長室メンバーが自部門のコンプライアンスを管轄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 【ステークホルターとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体） | 基本 | | | SNSアンケート等を通じて、お客様の意見を集約し、より良い店づくりに役立てている | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | 17 | |
| | 【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している | チャレンジ | | | 年1回のコンプライアンスチェックを実施 | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる | チャレンジ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 16 | |
| | 【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している | チャレンジ | | | | | | | | | | | | | | | | 9 | | 11 | 13 | 13.1 | | 16 |
| | 【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている | チャレンジ | | | 対策実施済み | | | | | | | | | | 8 | 9 | | | | | | | 17 | |

上記以外で設定した取組項目

| 独自に設定したSDGsに資する取組 | | 具体的な取組 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 |
|-------------------|--|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定